５．調査票

地域有識者調査票	○○版	
対象分野コード		

1998年6月

＜大学・地域交流研究会＞
代表　天野郁夫（国立学校財務センター）
事務局　小林雅之（放送大学）

地域社会と国立大学の交流に関する有識者調査

調査のお願い

高等教育の大きな転換期にあたって、全国の国立大学はそれぞれに地域社会との交流の新しい形を模索しはじめています。別添の依頼状に書きました通り、これからの国立大学のあり方を考えるため、○○県をふくむ7県で地域社会の指導的な立場にあるみなさまを対象として、アンケート調査を企画しております。この調査票では、「地域社会と○○大学との交流」の現状や今後のあり方について、みなさまの率直なご意見をいただきたいと考えております。

調査で得られたデータは、すべて統計的に処理し、みなさまにご迷惑をおかけすることはありません。ご多忙中、たいへん恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

回答は、できましたら**7月15日**までに同封の封筒でお寄せ下さい。

＜調査についての問合せ＞

Ⅰ．はじめに、○○大学とあなたの関わりについてお聞きします。

問1　あなたは○○大学について、どのような関わりやご関心をお持ちですか。以下のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．○○大学のことには、あまり関心がない
2．○○大学については、ごく一般的なことを知っている程度である
3．新聞・雑誌などで○○大学に関する情報があれば、注意して読んでいる
4．○○大学が発行する印刷物などによく目を通している
5．○○大学のキャンパスによく入ることがある
6．自分の仕事場には○○大学の卒業生が多くいる
7．○○大学の関係者（教職員や学生）と仕事で頻繁に接触がある
8．家族や親しい知人の中に○○大学の関係者（教職員や学生）がいる

問2　○○大学が行っている地域社会とのさまざまの交流についてご存じですか。以下のそれぞれについてご存じの活動がありましたら、すべて番号に○をつけてください。また、そのほかに○○大学が地域と関わって行っている活動で、ご存じのものがありましたらご記入下さい。

1．大学主催・共催の各種の公開講座
2．大学施設の一般開放
3．高校生などへの大学説明会・オープンキャンパス
4．社会人のための教育課程（夜間課程など）
5．各学部、研究所などが行う技術相談や技術講習会など
6．地元企業との共同研究・開発
7．地域交流窓口としての先端科学技術共同研究センターなどの活動
8．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　）

問3　あなたは、この1年間、次のような件で、○○大学からの協力の要請を受けたことがありましたか。また、その依頼に協力されましたか。それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。

	協力の要請があった			協力の要請はなかった
	全面的に協力した	部分的に協力した	協力できなかった	
A．シンポジウム・研究会等の講師・パネラー	1	2	3	4
B．大学内の各種委員会等の委員	1	2	3	4
C．専門的な知識や情報の提供	1	2	3	4
D．研究助成などの資金の提供	1	2	3	4
E．大学関係者が開催する会議・研究会への参加	1	2	3	4
F．その他（具体的に　　　　　　　　）				

問4　あなたは、この1年間に、○○大学の教職員も一緒に参加している、地域主導の研究会・交流会等に参加したことがありますか。また、参加したことがある場合は、差し支えなければその会の名称をお教えください。

1	参加したことがある
2	参加したことはない

→　参加したことがある方は、会の名称をお教えください。

Ⅱ．地域社会と〇〇大学との関わりについてお聞きします。

問５　あなたからごらんになって、〇〇大学は全体としてどんな大学だと思われますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に〇をつけて下さい。

	おおいにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
A．優れた学生が各地から集まってきている	1	2	3	4
B．全国的にみて教育の充実した大学である	1	2	3	4
C．卒業生は地域の各界の第一線で活躍している	1	2	3	4
D．研究のレベルは全国的にみて高いほうである	1	2	3	4
E．教員は地域によく貢献している	1	2	3	4

問６　〇〇大学は、地域的に（イ）どのような範囲に貢献している大学だと思われますか。また、（ロ）将来はどのような範囲への貢献を期待しますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に〇をつけてください。

	（イ）現状				（ロ）将来のあり方		
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	もっと貢献すべき	現状でよい	あまり貢献しなくてもよい
A．〇〇県に	1	2	3	4	1	2	3
B．□□地方に	1	2	3	4	1	2	3
C．全国的に	1	2	3	4	1	2	3
D．国際的に	1	2	3	4	1	2	3

問７　〇〇大学の地域社会への貢献について、（イ）現状をどう評価されますか。（ロ）将来のあり方について、どのようにお考えですか。（イ）・（ロ）について、それぞれあてはまる番号に〇をつけてください。

	（イ）現状				（ロ）将来のあり方		
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	もっと貢献すべき	現状でよい	あまり貢献しなくてもよい
（１）地域の教育機会							
A．地域の高校生の進学機会として	1	2	3	4	1	2	3
B．地域で活躍する人材の養成に	1	2	3	4	1	2	3
C．職業人の再教育に	1	2	3	4	1	2	3
（２）地域の文化・教育							
D．地域住民の教養の向上に	1	2	3	4	1	2	3
E．地域の文化の振興に	1	2	3	4	1	2	3
F．地域の教育機関の活性化に	1	2	3	4	1	2	3
G．地域における国際交流に	1	2	3	4	1	2	3
（３）地域の行政・経済・福祉							
H．地域の政界・行政に	1	2	3	4	1	2	3
I．地域の企業・産業界に	1	2	3	4	1	2	3
J．地域の保健・医療・福祉に	1	2	3	4	1	2	3
K．市民団体・ボランティアに	1	2	3	4	1	2	3

問８　〇〇大学は、地域にある次のような資源を、教育や研究にどの程度活用していると思われますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に〇をつけてください。

	おおいに活用している	やや活用している	あまり活用していない	全く活用していない
A．自治体・企業・学校などの施設・設備	1	2	3	4
B．地域の人材	1	2	3	4
C．地域の資料や情報	1	2	3	4
D．自治体や企業などの資金	1	2	3	4
E．地域の自然・社会環境	1	2	3	4

問9　あなたからみて、地域社会は、○○大学の教育や研究活動にどの程度協力していると思いますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	とても協力している	やや協力している	あまり協力していない	全く協力していない
A．地方自治体や地域の政界	1	2	3	4
B．地域の企業・産業界	1	2	3	4
C．地域の教育界	1	2	3	4
D．地域の保健・医療・福祉団体	1	2	3	4
E．地域の文化・芸術・マスコミ	1	2	3	4
F．市民団体・ボランティア団体	1	2	3	4

問１０　地域社会と○○大学とが交流を深めていく上で、それぞれの側にどのような障害があると、あなたはお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

（１）大学の側にある障害	そう思う	ある程度そう思う	そう思わない	何ともいえない
A．大学に地域交流のビジョンがない	1	2	3	4
B．地域との交流をするためのノウハウが大学の側に欠けている	1	2	3	4
C．教員に地域への関心が低い	1	2	3	4
D．地域のニーズにこたえるような研究が大学に少ない	1	2	3	4

（２）地域の側にある障害

A．地域の側に大学との交流のビジョンがない	1	2	3	4
B．大学との交流をするためのノウハウが、地域の側に欠けている	1	2	3	4
C．地域の側が、地元の大学より中央の大学との交流を望んでいる	1	2	3	4
D．大学の研究の成果を活かせるような企業が地域に少ない	1	2	3	4

問１１　地域社会の立場からみて、○○大学には、将来どのようなことを期待しておられますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	おおいに期待している	やや期待している	あまり期待しない	全く期待しない
A．地域住民子弟の入学のための優先枠を設ける	1	2	3	4
B．学生を企業や自治体などで実習させる制度を設ける	1	2	3	4
C．県・市の資金を大学が受け入れるような制度を設ける	1	2	3	4
D．大学の施設を地域住民に広く開放する	1	2	3	4
E．大学の情報を広く開示する	1	2	3	4
F．地域代表が大学の運営に参加できるような制度を設ける	1	2	3	4

問１２　それでは、○○大学と他の大学と比較して見た場合には、あなたは次のような役割を主にどの大学に期待していますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	主に○○大学	主に県内の他の大学	主に県外の大学	どちらともいえない
A．県・市行政の審議会等の委員	1	2	3	4
B．行政や企業との共同研究・開発	1	2	3	4
C．地元企業への技術・情報サービス	1	2	3	4
D．施設・設備・情報の市民への開放	1	2	3	4
E．市民対象の公開講座等の開催	1	2	3	4
F．職業人のための短期研修	1	2	3	4

Ⅲ．次に○○大学だけでなく、国立大学一般の今後のあり方についてお聞きします。

問１３　国立大学のあり方に関する以下それぞれのＡとＢの意見について、あなたのお考えに近い番号に○をつけてください。

（１）大学の人材養成について

A	Aに賛成	どちらかといえば Aに賛成	どちらかといえば Bに賛成	Bに賛成	B
Ａ．地域の発展に役立つ人材の養成を、第一に考えるべきだ	1	2	3	4	Ｂ．地域を超えて活躍する人材の養成を第一とすべきだ

（２）大学の教育について

A	Aに賛成	どちらかといえば Aに賛成	どちらかといえば Bに賛成	Bに賛成	B
Ａ．地域と交流して、実践的な教育の充実をはかるべきだ	1	2	3	4	Ｂ．地域とかかわりなく、大学独自の理念にたった教育をすべきだ

（３）大学の研究について

A	Aに賛成	どちらかといえば Aに賛成	どちらかといえば Bに賛成	Bに賛成	B
Ａ．地域との交流を持ちながら、新たな時代の学問の発展をはかるべきだ	1	2	3	4	Ｂ．地域社会にとらわれることなく、普遍的な学問を発展させるべきだ

（４）大学の社会的サービスについて

A	Aに賛成	どちらかといえば Aに賛成	どちらかといえば Bに賛成	Bに賛成	B
Ａ．地域社会のニーズに応じて、大学は積極的にサービスを提供すべきだ	1	2	3	4	Ｂ．地域社会へのサービスよりも、大学は教育・研究に専念すべきだ

（５）大学と企業との関係について

A	Aに賛成	どちらかといえば Aに賛成	どちらかといえば Bに賛成	Bに賛成	B
Ａ．企業との共同研究や受託研究、人的交流を積極的におこなうべきだ	1	2	3	4	Ｂ．営利が目的となる企業との、積極的な交流は避けるべきだ

（６）大学教員と地域社会との交流について

A	Aに賛成	どちらかといえば Aに賛成	どちらかといえば Bに賛成	Bに賛成	B
Ａ．学問的な発展のためにも、教員は、積極的に地域と交流すべきだ	1	2	3	4	Ｂ．本来の教育・研究に力を注ぐためにも、教員は、地域との交流は極力控えるべきだ

Ⅳ．最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。

問１４　あなたの年齢と性別をお教えください。

Ａ）年齢 [　　] 歳　　Ｂ）性別

1	男性	2	女性

問１５　あなたが現在関わっておられるお仕事のうち、主なものについて、さしつかえなければなるべく具体的にお書きください。

問１６　あなたは、○○県に通算してどのくらいお住まいですか。また、○○県を含めた□□地方についてはどうですか。それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。

Ａ）○○県に

1	０～　５年
2	６～１０年
3	１１～２０年
4	２１～３０年
5	３１年～

Ｂ）□□地方に

1	０～　５年
2	６～１０年
3	１１～２０年
4	２１～３０年
5	３１年～

問１７　あなたが最後に卒業された学校はどこにありましたか。

1	○○県内	2	○○県以外の□□地方	3	□□地方以外

問１８　あなたは、○○大学の学部や大学院に在学したことがありますか。

1	あ　る	2	な　い

最後に、○○大学について、あるいは地域社会と○○大学との関係や交流について、あなたの率直なご意見をお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

注）○○＝各県名が入る。ただし、宮城の大学については「東北」、福岡の大学については「九州」。
□□＝各地方名が入る。